

皆様、本日はようこそいらっしゃいました。心より歓迎申し上げます。そして、ドバイへの御出張、大変お疲れ様でございました。本日は、名古屋市議会の皆様、そして国際展示会アラブ・ヘルス出展者の皆様にお越し頂き、レセプションディナーの機会を設けさせていただきました。

このように、日本からの異なる業界の方々を一堂にお迎えしての会合を設けさせていただけるのは、グローバル都市ドバイならではと思っています。ドバイは、来年建国50周年を迎える若い若い国で、50年前は目の前の海を潜っての真珠と、微々たる水辺に生える棗椰子の実を取ってきて、そう言った小規模の売り買いビジネスしかありませんでした。

そのような歴史の流れのなかで、建国時のドバイの首長、即ち王様は、世界一の規模の海の港と、空の港「空港」の建設に踏み切りました。そして、どうなったか、地球儀を思い浮かべて頂きたいのですが、ヨーロッパと、アジアと、アフリカの交点である地理的条件を最大限生かし、瞬く間に、ヒト・モノ・カネ、そして今やサービスの一大ハブに発展しました。ですから国際展示会として、これほど立地条件の良い場所は、そう無いです。様々な方がいらっしゃいますから、今日もこのようなレセプションと相成りました。そう言ったことで、皆様、垣根を払い、大いに話に盛り上がっていただければと思います。

その前に、一つ、皆様に謝らなければなりません。市議会の皆様との関係では、官官接待になると言う世知辛い規則がありますので、本日フロアを共にするアラブヘルス出展者の方々も含めて、会費を払っていただいております。しかし、この会費の額、ドバイを、そして世界の経済を見ていただく上で、皆様の関心を引き起こす額とさせていただきます。

このグローバル都市、ドバイ、中東モスリムの社会にあって、特定のレストランであれば、市中でもアルコールを飲むことができます。そのお値段、例えば、日本で

ワイングラス一杯の600円のワインが、大体二千円で売っています。物価は日本の3倍。ですから、昼飯、ランチを、ファスト・フードではないレストランで食べると三千円します。本日の会費ですね。

翻って、日本。ラーメン一杯。八百円から千円ですよ。そして、生まれていない方もいらっしゃるかも知れませんが、20年前や30年前も、一杯八百円がぐらいではなかったでしょうか。その当時、最初にラーメンが海外進出した東南アジアでも、ラーメン一杯八百円ぐらいでした。しかし今や、東南アジアでもラーメン一杯、2千円から三千円。ここドバイでもラーメン一杯二千円から三千円です。即ち、この20年から30年で世界の経済、物価、所得は3倍に増大したにもかかわらず、日本はそれほど成長していない。あるいは成長の恩恵が国民にもたらされていないと言うのでしょうか。この話、一月にドバイを来訪した国会議員に話すと、日本もラーメン一杯二千円から三千円を払えるような社会じゃないといけないんだよね、とおっしゃっていました。

一方、ドバイはどうか。世界一、世界初、世界最大の多くのプロジェクトを見事成功させ、そして巧みに取り入れるなかで、煌びやかに発展した都市を瞬く間に作り上げました。経済の発展も凄まじく、UAE人の初任給は今や一千万円を超えています。

まさに皆様が、日本の現状を省みて、その発展のために、ここドバイにいらっしゃっていると思います。そして、勿論、日本の将来を担っていると思います。行政面、ビジネス面で、日本を引っ張って行って頂きたいと真に思います。本日は、大いに意見交換し、議論し、中東での熱い夜を過ごしていただければと思います。それでは、皆様のご活躍とご成功を祈念し、乾杯したいと思います。